

第6号様式（第5の2関係）

議 事 概 要

会 議 名	令和7年度 第1回屋久島警察署協議会
会 議 日 時	令和7年7月29日（火曜日） 午後1時30分～午後3時10分
会 議 場 所	屋久島警察署 会議室
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 4人 2 警察署 署長以下 5人
<p>【会議の概要】</p> <p>1 開会 2 委嘱状の交付 3 会長挨拶 4 署長挨拶 5 親転入者挨拶 6 新協議会委員挨拶 7 協議 (1) 署長概況説明 (2) 諮問・答申 (3) 意見・要望 8 飲酒状態体験ゴーグルを着用した歩行体験 9 閉会</p> <p>【概況説明に対する質問】</p> <p>(委員) 刑法犯が増加しているが、何が増加しているのか。 (回答) 明確な理由については、一概には言えないところであるが、被害を申し出た際、相談で終わることなく、積極的に被害届の提出を促しているため、これらが認知件数の増加に繋がっていると思われる。 (委員) うそ電話詐欺の相談件数が増加しているが、相談者の年齢層は高齢者に偏っているのか。 (回答) 幅広い年齢層の方々から相談を受理している。 (委員) 現在、SNSを通じて詐欺の被害に遭うケースが多く、幅広い年齢層の方々から詐欺に関する相談等を受理している。 (回答) 屋久島で外国人による犯罪はあるのか。 (委員) 昨年から現在まで、外国人による犯罪は認知していない。 (回答) ただ、外国人が絡む料金トラブル等の相談は受理している。 (委員) 殆どの外国人は登山等をするために屋久島を訪れているため、外国人が絡むトラブルは比較的少ないが、外国人が絡む交通事故は発生している。 (回答) 物件事故として届けられているもので、小さな事故にはどのようなものがあるのか。 (委員) レンタカーを返却する際に、どこで付いたか不明な小さい傷に関する届出等がある。 (委員) なかには事故による傷か否か判然としないものもあるが、事故と認定できた際は物件事故として受理している。 (回答) 外国人とは限らないが、夏場になると上半身裸で歩く女性があり、それを見た住民から注意して欲しいと頼まれることがある。 (委員) このような時は、警察に通報してよいものか。 (回答) 一般論としては、公然わいせつ罪が適用される場合もあるが、故意の有無や周囲の状況等、個別具体的に判断する必要があり、検挙に至らないケースもある。 (委員) ただ、注意することはできるため、通報してほしい。 (委員) 公園で風呂代わりに水浴びをしている人がいるが、注意してもらえるのか。 (回答) 公然わいせつ罪は公然性が必要となってくるため、公然性が問えなければ検挙することができないケースもあるが、注意することは可能である。 (委員) また、注意を継続しても同様の行為等を繰り返すようであれば、検挙に至るケースもある。 (委員) 警察では、そのような者を把握したいため、通報してほしい。 (委員) 先日、天文館でひき逃げ事件があり、数日後に犯人が捕まったと聞いた。 (回答) 事件が起きてから犯人が捕まるまで、数日経っているが、その間、警察では</p>	

- 既に犯人を把握していたりするのか。
- (回答) 当署の事案でないため、一般論としての回答になるが、目撃状況や防犯カメラ、ドライブレコーダーの確認等の各種捜査を実施して、犯人を特定し、逮捕することとなる。
- (委員) 飲酒取締りの現状について教えてほしい。
- (回答) 直近では、交通安全運動期間中に夜間の飲酒運転取締りを実施している。また、機会を設けて、島内全域で飲酒運転の取締りを実施しているが、屋久島は、飲酒運転の件数がそれほど多い方ではないと思われる。

【諮問・答申】

諮問 うそ電話詐欺の被害防止方策について
 当署では、うそ電話詐欺被害防止のため
 防災無線による広報
 国際電話の着信拒否（不取扱受付センター）の案内
 広報誌への掲載
 巡回連絡時の防犯広報
 防犯ボランティアによる広報依頼
 を行っているが、それでも被害が発生している上、今後も発生する可能性がある。
 上記取組以外に効果的な方策があれば意見をいただきたい。

- 答申**
- (委員) 今の時期で言えば、夏祭りのイベント等の際に、ステージで被害防止を呼び掛ける広報活動を行ったり、敬老会等に参加して、広報することが効果的ではないか。
- (委員) 広報紙を町報へ折り込んでいるが、町報の折り込みは殆どの人が見ていないと思う。
 会社等の職場に配布して、回覧してもらうようにすれば、閲覧する機会が増えるのではないか。
- (委員) 以前、防災グッズを町報と一緒に配布したことがあったが、町民のなかには「もらっていない。」と言う人が多数いた。
 町報と一緒に確実に配布しているものの、そのようなことを言われるということは見ないで捨てている可能性が高いため、町報の折り込みだけでなく、警察でも巡回連絡時に広報に関するチラシ等を配布してみてはどうか。

諮問 信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率の向上について
 信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率については、令和6年の調査結果で
 全国平均 53%
 鹿児島県 39.6%（全国41位）
 と鹿児島県は平均を大きく下回る結果となった。
 当署管内でも横断歩行者妨害の取締り等を行っているが、ほかに一時停止率の向上方策等があれば、意見をいただきたい。

- 答申**
- (委員) 屋久島では信号無視をする車も見かけるため、一時停止率の向上については取締りに尽きると思う。
- (委員) 島民の多くが取締り場所を把握しているため、色々な場所でランダムに取締りをしてみてはどうか。
- (委員) 宮之浦ではよく取締りをしており、横断歩道付近では歩行者がいなくても速度を落とす車両を見かけるため、取締りの効果が出ていると思う。
 警察の姿を見せることが大切だと思う。
- (委員) 屋久島では、高齢者が周囲の安全確認もせずに横断歩道を渡ろうとするため歩行者に対する横断時のマナーを浸透させることも大切だと思う。

【警察署行政に対する意見・要望等】

- (委員) 千尋の滝へ行く観光客がナビを頼りに運転して、離合できないような狭い道を通り、なかには脱輪する人もいる。
 集落で看板を設置するなどしているが、何か対策はできないか。
- (回答) 道路を常時規制することはできないが、道路管理者等と協議した上で、看板等による広報を行うことも1つの方法かと思われる。

【飲酒状態体験ゴーグルを着用した歩行体験】

飲酒状態体験ゴーグルを着用した歩行体験を行い、酒気帯び状態での運転の危険性を認識した。

備 考	
-----	--